

日本予防医学リスクマネジメント学会第7回学術総会

- 産科医療のリスクを徹底議論しよう ～母児の安寧を求める我ら～

会場：2009年3月19日(木)～20日(金・祝日)

会場：京都大学医学部 創立百周年記念施設 芝蘭会館

京都市左京区吉田牛の宮11-1、電話 075-771-0958、京都大学正門徒歩数分。

主催：日本予防医学リスクマネジメント学会

後援：厚生労働省、滋賀県、京都府医師会、滋賀県医師会、日本産婦人科医会京都府支部、同滋賀県支部、京都府看護協会、滋賀県看護協会、京都府助産師会、日本助産師会滋賀県支部、滋賀医科大学医師会、京都新聞社、その他

受講対象者：学会員、医療施設経営者、医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、法関係者、医療事務関係者、医療産業界関係者、学生、市民、その他

(注) 本総会は日本医師会生涯教育指定講習会(単位認定: 3単位)、および日本産婦人科医会会員講習会(Aシール)に該当します。

■ 2009年3月19日(木) ■

(挨拶) 舛添要一 厚生労働大臣、(特別発言) 唐澤祥人 日本医師会会長

会長講演「周産期医療をとりまく諸問題」野田洋一 (滋賀医科大学名誉教授、元同付属病院副院長)
シンポジウム「周産期医療におけるリスクのありかを探る - 現状分析 と討論を通じた問題点の共有」

座長：海野信也 (北里大学産婦人科)

シンポジウム「いよいよ始まった産科医療保障制度を検証する」

座長：木下勝之 (日本産婦人科医会 副会長)、野田洋一 (滋賀県産婦人科医会 会長)

特別講演「医療事故に遭遇した患者・家族は何を求めているのか」増田聖子 (愛知県弁護士会)

教育講演「安全を創る、しつめる」江原一雅 (神戸大学医学部附属病院医療安全管理室)

基調報告「みえない垣根～安全の連繫」長尾能雅 (京都大学医学部附属病院医療安全管理室)

パネル・ディスカッション「次の安心に向かおう」座長：内野直樹 (社会保険相模野病院)、他

会員総会、ランチョンセミナー、懇親会(芝蘭会館別館)

■ 2009年3月20日(金・祝) ■

シンポジウム「産科診療の現場におけるリスク回避の工夫」

シンポジウム「胎児情報の有用性とその限界—理論と実際の狭間で」

パネル・ディスカッション—これからの分娩の在り方を考える

--脳性まひを回避する観点からの分娩取扱い法の標準化は可能か—討論と提言--

座長：木下勝之 (日本産婦人科医会 副会長)、野田洋一 (学術総会 会長)

特別講演「やって来るインフルエンザに備えて」岩田健太郎 (神戸大学大学院医学研究科)

小グループ討論、ランチョンセミナー

■ 一般演題 ■ 演題申し込み先: 下記の第7回総会事務局

広くリスクマネジメントに関する話題を募集します。提出方法は下記ホームページを参照ください。
発表者全員は演題申込の時点で日本予防医学リスクマネジメント学会の学会員である必要があります。

学会入会申し込み先: 日本予防医学リスクマネジメント学会本部 (TEL/Fax: 03-3817-6770)

事前参加申込締め切り: 2009年2月28日

参加費と申し込み方法は下記ホームページをご覧ください。

日本予防医学リスクマネジメント学会
-第7回学術総会事務局

特定医療法人社団御上会 野洲病院

〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原1094

TEL 077-587-1332 FAX 077-587-5004

電子メール: jsrmpm7@yasu-hp.jp

第7回学術総会ホームページ

<http://www.yasu-hp.jp/jsrmpm7/>